V

計画の基本的視点

Ⅴ 計画の基本的視点

1　農林水産業を支える3つの視点

都市化が進展する中、本市では豊かな自然環境や地域資源が残されています。今後は、これらを生かした産業としての農林水産業の振興を図るとともに、農林水産業者だけでなく、市民が一体となり、農山漁村を守る取組が必要となってきます。

そのため、担い手や消費者など農林水産業を支える「人づくり」、安全で安心かつ信頼され魅力あふれる「ものづくり」、地域資源を最大限に生かした活力ある「地域づくり」の3つの視点で、「人」と「もの」と「地域」がそれぞれを支えあう関係を構築できるよう、各種施策に積極的に取り組むことが必要です。

「人づくり」

農山漁村の持続的な生産活動や維持・保全を進める上で最も重要な役割を担うさまざまな「人」とその「人づくり」を支援します。

⇒「将来の農林水産業を支える人づくり」

「ものづくり」

高い生産性と消費者ニーズに対応した特色ある農林水産物や加工品づくり、環境と調和した農林水産業のあり方、地産地消*等を推進します。

⇒「信頼され魅力あふれるものづくり」

「地域づくり」

生産性が高く効率のよい農林水産業の生産基盤の整備や多面的機能の維持・発揮、地域資源を生かした都市と農山漁村の交流等を図ります。

⇒「特性を生かした活力ある地域づくり」

さらに、「人づくり」「ものづくり」「地域づくり」を実効性あるものとするため、農林水産物産出額や農林水産業者の所得の向上など、産業として発展させる**「攻めの施策」**と、農山漁村における地域資源や安全で快適な生活を守る**「守りの施策」**を両輪として、**農林水産業の活性化と次世代への継承**のため、各種施策を講じてまいります。

2　計画の目標像

本計画の3つの視点である「人づくり」「ものづくり」「地域づくり」が相互に補完しながら、理想とする農林水産業の実現を目指していくため、本農林水産業振興基本計画の目標像を

人を育(はぐく)む　ものが輝(かがや)く　地域が活(い)きる農林水産業の実現

と設定しました。

3　第2次大分市農林水産業振興基本計画とSDGsの関連表

	基本計画3つの視点 SDGsの17のゴール	将来の農林水産業を支える人づくり	信頼され魅力あふれるものづくり	特性を生かした活力ある地域づくり
1	貧困をなくそう			
2	飢餓をゼロに	●	●	●
3	すべての人に健康と福祉を	●	●	
4	質の高い教育をみんなに	●		
5	ジェンダー平等を実現しよう	●		
6	安全な水とトイレを世界中に	●		●
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに		●	
8	働きがいも経済成長も	●	●	
9	産業と技術革新の基盤を つくろう		●	
10	人や国の不平等をなくそう			
11	住み続けられるまちづくりを	●		●
12	つくる責任つかう責任	●	●	●
13	気候変動に具体的な対策を		●	
14	海の豊かさを守ろう	●	●	●
15	陸の豊かさも守ろう	●	●	●
16	平和と公平をすべての人に			
17	パートナーシップで 目標を達成しよう	●	●	●